

むらはじら

平成二十五年は、第二祖日向聖人の七百遠忌です

題字・持田日勇賀首祝下

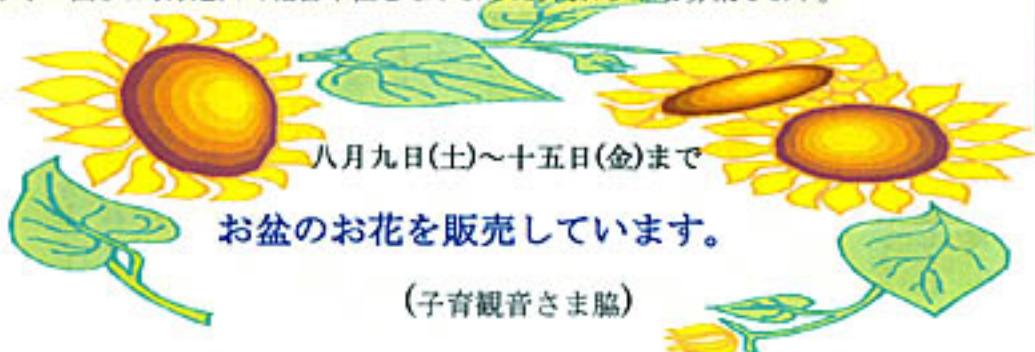
第19号

発行日 平成20年7月1日

発行所 千葉県茂原市茂原 1201
日蓮宗本山東身延 茂原寺
発行責任者 総務執事 増田 寶泉
TEL0475-22-3153

- 中川上人が長谷 鏡済寺住職 長柄沾通寺・城徳寺の代務住職になりました。(今まで通り茂原寺に住んでます。)
- 女性職員の飯塚さんが退職されました。
- 本年の団参は、身延山で輪番奉仕となりました。後日参加者募集します。

掲示板



※

偏頭痛

夏バテ防止に！

七月二十四日(木)
午前九時より
午後四時まで
茂原寺 華経殿にて

ほうろく灸

貫首様のお言葉

日蓮宗国際佛教親交大会

南米日蓮宗教会

参拝の旅について



持田日勇猊下

南米へ行つて来ました

六月十九日の木曜日の午後六時に成田を発つて、七月一日火曜日の午後四時に成田に帰つて来ました。

今日は日本人がブラジルへ移民し

て百周年に当たります。皇太子様も渡伯なさいましたが、百周年を記念して、サンパウロの身延山南米別院恵明寺で、ご苦労なさった先亡の諸靈の追悼法要を奉行し、併せて日蓮宗が新たに開教した新開教拠点、法華經寺創立五周年を開記念して、日蓮大聖人御尊像を奉

納し、開眼供養を営むためです。更に折角ブラジルまで来たのだから、ペルーの世界遺産を見てこようという大変ハードな旅となりました。

第一日目は十三時間航空機に乗つてニューヨークに着きました。

一泊して翌

日、ニューヨーク大聖恩寺の主管

と会い、立

正伎成会二

ユーヨーク

教会を訪問

し、神谷教

会長と旧交

を暖め合い

ました。

二〇〇一年九月十一日の同時多発テロで破壊された貿易センタービル跡グランドゼロで読經をして犠牲者の靈を慰めました。

その後、夜八時にニューヨークを発つてサンパウロに向かい、午前

六時に到着しました。約十時間のフライトです。

午後はサンパウロ市内を見学し、

ブラジル移民資料館を訪れました。

一九〇八年（明治四十一年）四月二十八日に、東洋汽船所属の笠戸丸で神戸港を出発した一五八人家族

七八一人がサンパウロ郊外七十キロのサントス港に上陸したのが六月十八日であります。その指導者は清水龍氏で、日蓮聖人の教えを継承する仏立講の信者であります。

サンパウロ恵明寺資料館の記録を見ますと、清水龍氏が志したのは、移民は棄民ではなく、日本人が海外に進出しようとするとする勇姿であり、貧しさから逃れるために日本を捨てたということがではないようです。

第四日目の二十二日には恵明寺

で午前十時から移民百周年記念先

亡諸靈追悼法要を斎修いたしま

た。初めに、尺八と琴の合奏があ

りました。曲目は五丈原です。五丈原とは、紀元二百三十四年蜀の

諸葛孔明が魏の將軍司馬懿と対陣

中に病死した所です。追悼の顔を奏でた、尺八は二人でしたが大変上手でした。琴は六人の演奏で皆古びてはいましたが留袖を着ていた婦人が四人、振袖を着ていた若い女性が二人で大変熱心に弾いてくれました。

その後法要をしましたが、九人の大ベテランの僧侶の所作ですから信徒達は相当な感銘を受けたようです。百五人ばかり参列していました。

この恵明寺は昭和四十五年建立され開堂式が挙行されました。しかしそれ以前に、創立者石本恵明上人が日蓮宗管長特命開教師として昭和二十九年に足跡を刻んで、信徒の帰依を得て寺院建立を成し遂げた歴史を含めると今年はブラジル開教五十四年になります。

本からの訪問客二十三人を含めた百三十名が和やかに会食しました。

料理はすべて信徒たちの手作りで

した。

法華經寺は開設して五年ですし、信家ですので、恵明寺に及ぶべく



もありません。建物は市の文化財だそうで、勝手に直せないのが残念だと主音者が言っていました。

法華經寺から宗務院を通じて宗祖の御尊像が欲しいという依頼があ

りましたので、会員の仙行寺の住職朝比奈安成師に依頼して立派な木造の祖師像を作つてもらいました。材木は藻原寺の桶の木を提供いたしました。その御尊像にふさわしい本堂を建立するのは大変なことでしょう。いずれの時か支援の手を日本から差し伸べたいものだと思っています。

ここには池水師と奥田師という若い開教師がおりますが、池水師のブラジル人弟子が近く東京へ来て僧侶としての修行をするようです。奥田師の弟子が三人来ていました。

二十代から三十代のブラジル人で

日本語が出来ませんが僧侶になりたいと熱心です。支援してやりたいと熱心です。支援してやりた

くなりまして、藻原寺に来れば面倒を見てやると言つておきました。

僧侶になる若い人がいるということは心強くありがたいことです。

その後、本物の炭で焼肉バーで一をして歓迎してくれました。

二十三日はイグアスに飛びました。

その日はブ

ラジル側から滝を見物

しました。明

日はアルゼンチン側から滝を見ま

した。壮大なもの



リマまで十時間かかった事になります。

二十五日から二十八日まではクスコ・ウルバンバ・マチュピチュ、

イカ・ナスカと世界遺産を見て回りました。

二十九日午前一時の便でロサンゼルス経由ラスベガスに行きました。

到着したのは午後二時ですから乗り継ぎ時間を含めて、十三時間かかりましたことになります。ラスベガスでは観音寺を訪問しました。

観音寺は個人の住宅を法城にしたもので、まだ寺院としては未公認ですが、立派に御宝前を莊厳していました。

主管の金井勝海上人は昭和三十九年に開教師として北米に赴任して以来、シアトル・ロサンゼルスの各教会の主任開教師を勤め、昨年ロサンゼルス教会の主任を退職してラスベガスに教会を作ろうと苦心しています。これから皆で応援していきたいものだと思っています。

長い間、ご尽力を賜り

誠に有難うございました。

新総代紹介

筆頭総代 佐藤 利夫 氏



総代

金坂 忠利 氏(左写真右上)

安藤 肇勇 氏(右下)

寺田 憲司 氏(左上)

鎌田 泰夫 氏(左下)



退任

筆頭総代 渡辺 芳郎 氏

総代 足立 宣夫 氏

寺田 善行 氏

宮崎 和雄 氏

長い間、ご尽力を賜り

誠に有難うございました。

お題目初唱会（五月十日）

毎年天候が気になる初唱会。十二時半、小雨模様の中、大聖人役の貫首様を中心に、茂原警察署の警察官の先導を受け予定通り茂原小学校を出発、茂原駅前では和太鼓の演奏に迎えられ盛上がりをみせました。

一行は大和屋旅館で休憩の後、沿道の人々の声援を受けながら、藻原寺に向いました。

午後二時半から修復の整った大型人御真筆御本尊三幅が奉安され大法要が斎修されました。その後の清宴では一龍斎貞花師匠の日蓮聖人二代記の講談があり、参加者一同、和やかな時をすごしました。

お題目初唱会とは、宗祖日蓮大聖人が清澄山の山頂で始めて南無妙法蓮華経のお題目を唱え、開宗された後、一族をあげて帰依し、始めてお題目を唱えた茂原の人々の感謝のお祭りです。

是非とも、多勢の皆様のご参加をお待ち申上げます。

修復事業（五月七日）

日蓮聖人御真筆

大曼茶羅御本尊 帰山

立教開宗七五〇年事業の一環として進められている修復事業により当山の貴重な御曼茶羅が修復を

終えて無事に帰山し貫

首様を大導

師に、修復

帰山法要

が、営まれ

ました。



奉納

松本 哲也様 座布団十枚

平成二十年度行事予定

ホウロク会 七月二十四日(木)

盂蘭盆施餓鬼会 八月十五日(金)

川施餓鬼会 八月二十四日(日)

門祖講 九月三日(水)

秋季彼岸会 九月二十三日(火)

宗祖御更衣式 十月一日(水)

向尊殿大祭 十月三日(金)

観音堂秋季大祭十月十九日(日)

お会式 十一月八日(土)

子育て観音大祭十二月六日(土)

餅つき 十二月二十七日(土)
お焚き上げ・除夜の鐘

十二月三十一日(水)

平成二十一年

新年祝祷会 一月一日(祝)0時

新年祈願会 一月一日～五日

華経坊例祭 每月一日 十一時

お頭講会 一月十四日(祝)

